

平安時代に疫病を鎮めた祇園の神様
市内の八坂・須賀・素鷲神社は、天王様の名称で親しまれており、もとは祇園社といいました。祇園とは、『平家物語』の冒頭にも登場する祇園精舎（インドの寺院）に由来し、その祇園精舎建立のいきさつと元慶元年（八七七）に藤原基経が自邸を寄進し社を平安京に建立したとされる行為が類似することから、この基経の社を祇園社と呼んだのが始まりでした。

祇園精舎では守護神として、牛頭天王を祀ることから、平安京の祇園社にも牛頭天王が祀られました。牛頭天王は、インドにある牛の頭に似た牛頭山に住んでいたとされ、その山に自生していた「せんだん」という植物が熱病に効くことから、疫病を防除する神と信じられていました。平安時代の頃、疫病は人々が最も恐れていたもので、この

祇園祭

暦
旧 7 日
月 6 日
・ 15 日



ふるさとの年中行事

平安時代に疫病を鎮めた祇園の神様

「せんだん」は、夏の疫病を鎮めたため、夏祭りの起源となり、祇園・天王信仰が、全国へ浸透していきました。

明治元年（一八六八）の神仏分離令の際には、京都祇園社が八坂神社に、また全国の祇園社・天王社が八坂・須賀・素鷲神社などに改名されました。

現在、市内には西成井・深谷・大和田・崎浜・中志筑などに特徴的な祇園祭があります。



柏崎竹切り祇園で武者行列の
武士が顔を覆った面頬

※郷土資料館ホールに
7月上旬まで展示中

文芸ひろば

俳句

行き過ぎてより匂ひ来し花蜜柑
山法師沢の水音やはらかし
大橋を映して植田揺らぎけり
たんぽぽの絮の気まよや一人旅
新緑の香り漲る山路かな
蜥蜴出て四方を見回し隠れけり
置き薬そろそろ尽きて柿若葉
水無月や思ひおもいの農仕上げ

短歌

火葬場に茶毘にふす間を食事とる現実
二月堂に火を振り厄を払ふならひにしへ人の祈り尊ぶ
とげ抜の地蔵の煙取込みて病む膝なでし遠き日思ほゆ
小作の子風呂釜炊きを手伝ひて火の光にて読みたる漫画
ばつさりと枝伐られたる檜の木のかれしか哀れ未だ芽の出でず
スピードを出して息子に叱られる「シルバーマークは飾りじゃない」と
闇に建つ高層ビルの窓あかりに五月雨銀の帷をおろす
しとしと肌さむく降る春雨もボタンの花の咲けばやすらぐ
洗濯機十余年後は不平言い今朝突然、どなり暴れる
様々な想いを詰めて走るらし最期の鹿島鉄道対岸に見る

的場トシ子（上土田）
宮本和子（中佐谷）
目黒しづ子（稲吉東）
鳥海力（下稲吉）
佐藤千代（六倉）
名倉親子（下大堤）
小室和則（西成井）
小野清子（下稲吉）
前島和子（雪入）
菅谷味子（柏崎）

率先した教育情報化を!!
「志筑小の授業風景」

体育の授業
でパソコン
しよう？

平成 18 年度経済産業省委託「教育情報化促進事業」を受けて、本校にノートパソコン、スマートボード（電子ホワイトボード）、Web カメラ、プロジェクター、デジタルカメラが整備されました。それに伴い、校内どこでもインターネットがつながる無線 LAN の環境が整備されました。

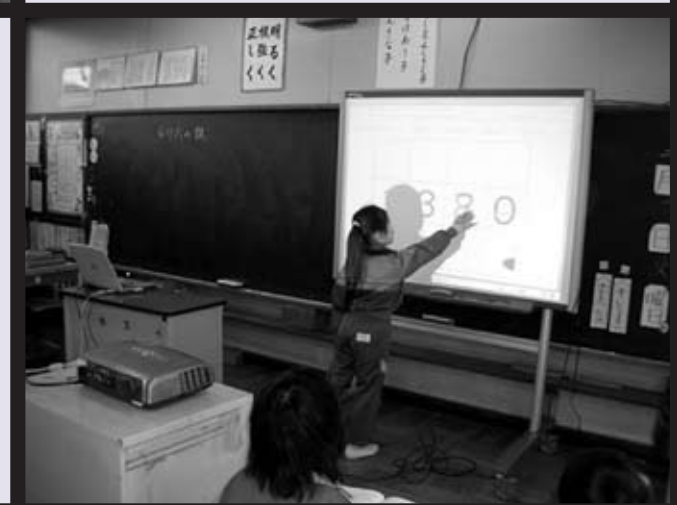


■情報機器を使った授業を展開

従来からあるコンピュータ室以外に教室や体育館、運動場などいろいろな場所で、インターネットやwebカメラなどのICT(Information and Communication Technology)を活用した授業を展開しています。体育科でもパソコンを活用し、いろいろな縄とびのとび方をアニメーションで見、参考にしながら練習しています。

■子どもたちはパソコンの
操作が大好き

もちろん教室でも情報機器が大活躍。電子ホワイトボードを活用した話し合い活動の工夫などを通して、考える楽しさや学習意欲の向上に努めています。子どもたちのキラキラと輝く瞳が授業の楽しさを表しています。電子ボード上で操作して問題を解いているところです。

■考える楽しさが
味わえるような授業

本校は、平成 17 年度から文部科学省委嘱県指定学力向上拠点形成事業を受け、算数科を重点とした研究に取り組んできて3年目となりました。さらに、今年度はかすみがうら市教育研究会の指定も受けており、昨年以上に力を入れて研究に取り組んでいます。

